

群馬菱の実会だより

第17回（秋季）グラウンドゴルフ大会

田部井秀夫さん優勝



ン1、バーディ12、スコア59（ハンディキャップ2）の田部井秀夫さん、準優勝は大竹照雄さん、三位は根岸佳代子さんでした。

ホールインワン達成者は9人（10本）でした。

第17回（秋季）グラウンドゴルフ大会は、さる11月22日(月)に、いつもと同じ利根川グラウンドゴルフ場に29名の参加を頂き開催をしました。

当日は晩秋の穏やかな日和にめぐまれ絶好のコンディションとなりました。参加者は日頃から腕を磨いた面々で白熱のゲームが展開され、その結果、優勝はホールインワン

順位	氏名	H D	スコア	1打	2打
優勝	田部井秀夫	2	59	1	12
準優勝	大竹照雄	0	63	1	9
3位	根岸佳代子	3	64	1	8
4位	長嶺元	0	64	0	12
5位	増田三郎	2	65	2	6
6位	小堀聰	0	65	0	9
7位	長谷川哲男	7	66	1	8
8位	小山始	0	68	0	8
9位	沢村政雄	3	71	1	5
10位	石尾延也	0	71	1	5



新会員紹介 小野照夫さん (平成11年10月20日定年)

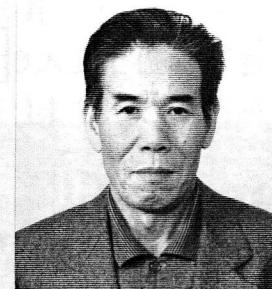
太田市藤久良町20-9 電話 0276-31-4422

平成11年10月20日をもちまして定年退職となり、この度、
菱の実会に入会させていただくことになりますので宜しくお願
いいたします。

昭和41年に入社しプレス係、石油ファンヒータ、ピック、基
板などの職場を異動して参りました。最後はプレス係で定年を迎
え、その間、33年各職場の上司並びに先輩の皆様に大変お世話
になり感謝の気持ちです。

定年まで健康で来たのも毎日の規則的な生活をしてきたから
だと思います。このリズムを続けて楽しく人生を送りたいと思います。

今後、先輩の皆様、ご指導をよろしくお願ひ致します。



田部井朝保さん (平成11年10月20日定年)

太田市宝町750番地 電話 0276-32-2278

平成11年10月20日付けを以て、転籍しておりました菱馬テクニカ(株)を定年退職し、今般、菱の実会諸先輩の皆様方の仲間入りをさせて頂くことになりましたので宜しくお願ひ申し上げます。

昭和34年入社以来40有余年、菱電機器・群馬製作所(営業、資材関係業務)・住環本大船事務所(総務関係業務)・菱馬テクニカ出向、転籍(サービス、現品管理業務)と長きの間、公私両面に亘って諸先輩方の皆さんの格別なるご指導ご支援を賜り、大過なく今日を無事迎える事が出来ましたことに対し、この紙面をお借りし厚くお礼申し上げます。幸いにも健康に恵まれ、数多くの貴重な経験を積ませて頂き、思い出多き、且つ、充実した会社生活を過ごさせて頂きました。

これからは、新たな気持ちで健康第一に、悔いのない残された人生を少しでも有意義に過ごせればと考えておりますが、まだまだ未熟者でございますので、今後共諸先輩皆様方の更なるご指導ご鞭撻ご厚誼を賜りますようお願ひ申し上げます。



会員投稿 『退職前後から「毎日が日曜日」の5年間』

太田市 町原 義太郎

◎過ごし方・趣味のことなど(その1)

58才のときだった。高校時代の友人二人の訃報を続けて聞いたのは。二人ともサラリーマンとして活躍中であった。一人目のときは「えっ！はやすぎるよ…さぞかし残念だったんだろうな」と思ったが、間をおかず二人目の訃報を聞いたとき「うーん？？」と考え込んだ。そして決心した。「人生80年、生きているうち というより元気なうちに何にも縛られないで自由に生きて行くのが幸せではないか。よし 60才になったらやりたいことをやっていこう」と。で無事に？大過なく？会社生活を卒業し「毎日が日

曜日」に入った。退職に当たり前代未聞? と思う挨拶状を作った。「バンザイ! これからやりたいことをやって行きます…」という内容。「何という挨拶状だ」と思われた方もいらっしゃるかもしれないが、大方の人には肯定的に受け止めていただいたと自画自賛。幾人かの人から返事をいただいたが、その中の二つ、大学の先生から「バンザイ! は早すぎる」スマセン 先輩から「自由は不自由だよ」ソトオリ 会社では期限があったり、約束事があったり、突発事項が起きたり、とにかくぼんやりしている暇はない。これからはボケーッとしても誰からも文句を言われることはない(女房ドノは別か)。「自由で何にも縛られないで気ままに生きていける。うれしいな!」だが待てよ、会社生活をしているときは、一生懸命に? わき目も振らずに? 仕事に励んでいるから、日曜日が楽しいのであって、これが毎日となるとどうなるか? 粗大ゴミになりかねない。一体何をやるんだ。これが問題。…「自由は不自由」言い得て妙と思う。やはり趣味を広げること、そして井の中の蛙ならないこと。これが大事なことではないかと思った。

趣味については、生涯の友としているテニスを楽しむのはよいとしてそれだけでは物足りないと思い、「毎日が日曜日」に入ることを決心してから、何かいいものはないかと思案したが(それほど真剣に考えたわけではない)ちょうど任地が九谷焼きの金沢であったこともあり、通信教育で陶芸を始めた。簡単なようでなかなか難しい、最初に粘土をこねる菊ねりというのがあるが、これがなかなか出来なかった。でも、創造の喜びというかできあがったものをつくづく眺めるのはいいものである。勤務の合間に、コツコツと土いじりを苦労しながらも楽しみながら無事卒業。この陶芸は帰群してから本当に卒業。今は女房が引き継ぎ熱中している。

井の中の蛙にならないことについてはあまり心配しなかった。

帰群してから(H 6/7月上旬)家の内装工事(帰るまでに完成しておこうと計画したが実際に工事がはじまったのは帰群してから…計画通りに行かないのが世の中の習い…)家内外の整備、そのうえ、オーストラリアから孫(2歳)が来たりしてテンヤワンヤ。それでもテニスだけは合間を見つけてやっていた。

ようやく落ち着いて待望の「毎日が日曜日」が始まった。

趣味のことについて、書いてみよう。

テニス 今テニスをやっていて本当によかったと思っている(特に夫婦でやっていたことに)、日建に出向した時(昭和48年~51年)いろいろ苦労したが、その悩みをいやしてくれたのが週末のテニスであった。白球を無心でおっていると悩みも汗とともに吹き飛んでしまう。これがなかったら相当参っていたのではなかろうか。千葉での生活は3年であったが最後の年にはお世話になったクラブの副会長をやらせていただいた。ねんりんピック島根(H 7年)では、その当時お世話になった人達が千葉市代表として参加されており20数年ぶりの再会を喜びあった。…こういう出会いもある…

広島でもそうだった。特にワイフがテニスの恩恵にあずかった。単身赴任は別として夫婦で行くとすると(子供達はもう半独立)何か趣味でももっていなければワイフは孤独を味わうことになる。テニスのお陰で仲間がすぐできた。私は週末しかできないがワイフはやろうと思えばいつでもできる。したがって私よりテニスの仲間が多い。今でも何かとお互いに連絡を取り合っているようだ。(群馬菱の実会だより(4)につづく)

(群馬菱の実会だより(3)からつづく)

金沢の時は、もっと深い交流がいまでも続いている。緑陰会というクラブに入れてもらったのだが、そのときの入会のやりとりが面白い。会長:「ビールは好きかね」私:「大好きです そのためテニスをやっているようなものです」会長:「では入れてあげよう」めでたく会員になれたのだが、ビールの件があつて会の名前をしばらくの間、緑陰会ではなく緑飲会とばかり思っていた。オソマッ。会員は地元の人と転任者（金沢には各企業の支店が多く転任して来た人を積極的に受け入れている）で構成されているが日曜日が定期の集まり、午前中ゲームをやり昼は宴会？午後からまたゲーム（酔いをさます）、この昼の飲み会がまたすばらしく楽しかった、各界・各層の人（大学教授、名誉教授、病院長、開業医、会社経営者、会社・役人のOB・・昭和天皇の護衛をされていた人もいる・・サラリーマン、転任者etc）が集まっているので話題には事欠かない。また話の中からいろんな企画も出てくる。温泉（北陸にも温泉が多い）一泊テニス・芋煮会（東北出身の方もいる）・歓迎会・送別会など。最大の企画は皇居でのテニスであった。帰群してからの話だが、多分この飲み会で決まったのだろうと思っている。皇宮警察から石川県警に出向して来られた方がまた皇宮警察に帰られることになり、皇宮警察対緑陰会の親善試合を皇居でやることになった。旧会員も何人か招待された。私たち夫婦も喜んで参加させてもらった。そして、希有なことが起こった。

折角、皇居でテニスをやるのだから、天皇・皇后両陛下のテニスを垣間見ることができたらいいなと思っていたが、何と両陛下が我々のやっている所へお出ましになるというではないか（旧会員に天皇のご学友がおられ、侍従に前もって連絡をしておられたとのこと）、ゲームを楽しんでいる途中、人品いやしからぬ人（侍従）が現れ何やらご学友と話をされていたが、丁度両陛下がテニスをやられる日だったのだろう。それから間もなくであった。両陛下がお出ましになるという報が入って来たのは。あわててコートにブラシをかけ、椅子を並べ変えお待ちした。やがてお見えになった。懐かしいお顔（テレビ、新聞ではよくお目にかかる）なので「やあーしばらく」と声をかけたくなった。（コレハウソ）

両陛下ペアとミックスでゲームをやることになった。第1試合は両陛下ペアの勝ち。こちらのペア（特に会長）はコチコチ、ふだんはあまり見かけないミスを連発（さもありなん）。休憩中、もう1試合どうですかとお聞きしたら、明日の予定を確認され、もう1試合やることになった。今度は、ワイフが長老と組んで対戦。最後は天皇のすばらしいストレートでワイフがサイドを抜かれゲームセット。両陛下と握手。（日本人で両殿下と握手した人は少ないのでないか）後で、ワイフが「陛下にきれいにサイドを抜かれ負けてよかったです」と言うので「勝負は勝たなければだめだ」と冗談交じりに言ってやった（ダソク）。

私たちにとって何とも言えないすばらしい夢のような出来事であった。

テニスにも、シルバー向けに公式・非公式とりませいろんな企画がある。シニアーテニス連盟の全国大会・北関東大会・県や東毛地区の親善試合、まだまだ大会（県・東毛）、全三菱庭球大会（H・I杯などのほかに、120才・130才トーナメントがある）、県民スポーツ祭、シルバースポーツフェスティバル、長野県や栃木県との親善試合…etc。いづれも最優先で参加することにしている。大会にはいつも勝つつもりで出場しているが、世の中は広い、なかなか勝たせてもらえない。勝率5割強といったところか。

勝率と言えばH8年から記録を取っているが、公式戦・お楽しみのゲームを含めて、H8年66.5%、H9年65.5%、H10年61.0%であった（おやおや だんだん悪くなっているではないか）。勝敗もさることながらこれらの企画には懇親会がセットされているのが多く、それがまた県外の人達との交流もでき楽しいのである。ねんりんピックにもテニス部門がある。今年は福井で開催されるが、ワイフと一緒に参加できることになっている。ねんりんピックでは開催地の皆様に温かく迎えられ感激度も一入である。

不定期には昔の仲間との旧交を温めるため、仙台や金沢にも何回か足を運んでいる。来年2月にはグアムでの親善試合に出掛けるつもりでいる。

日常的には、太田レディス（コーチ役週一回。今世の中のレディスは元気）・木曜会（前橋で週一回）・又、土曜か日曜には若い人達とともに汗を流している。

まさに 我が人生において テニス万歳！ である。

（来月号につづく）



全三菱庭球大会 平成9年10月4日

同期ペア山本成一郎氏(中央)、馬渕公作氏(左側)、本人(右側)

トピックス

10月10日付け上毛新聞によりますと、10月9日から福井県武生市で開催された『ねんりんピック99福井』に群馬県からテニス部門で町原義太郎さんご夫妻が出場されたことが、奥さんの『“ゴルフウイドー”ならぬ“テニスウイドー”になってはとラケットを降り始め、最近では週三回、夫婦で近くのコートに通うのが楽しみ』というコメント入りで紹介されていました。

◆ おしらせ ◆

1. 平成11年 囲碁大会

◎日 時：12月13日（月）9：30～17：00 ◎会場：睦荘
 ◎会 費：1500円 ◎昼 食：用意します ◎今回初めての大会で優勝杯も準備しましたので振るって参加ください。なお、すでに幹事（伊沢）まで、ご連絡済みの方は申込み不要ですが、その他の方は12月10日までに必ず申込みください。

2. 12月の囲碁愛好会

◎初心者講習会：12月8日（水）、22日（水）9：30～◎会場：体育館 余暇開発室

3. 12月グラウンドゴルフ月例会

◎日 時：12月20日（月）9：30～ ◎会 場：利根グラウンドゴルフ場

4. 1月のカラオケ月例会

◎日 時：1月11日（火） 17：00～ ◎会 場：睦荘 Y.O.U遊ホール
 ◎申込：愛好会役員（齊藤慶蔵さん：Tel 0276-52-1846）まで

5. 次回の幹事会・編集委員会（会場：組合会議室）

◎編集委員会 12月27日（月）11：00～
 ◎幹 事 会 1月 11日（火）16：00～

6. 今年もあります、年末特別社内分譲

恒例の年末特別社内分譲が12月9日（木）、10日（金）昼休みと定時後にゲストホールで行われます、会員は現金販売のみが対象ですが、ぜひお出かけください。

7. 馬電冬休みのご連絡

馬電の冬休みは12月29日～1月6日となります。

8. 火災共済からのおしらせ

火災共済の証書を郵送（12/3）しました、確定申告に使う払込証明書も同封してあります。

編集後記 ◎今年も残り少なくなりました。来年は20世紀の最後の年である。大台の数字が19から20に変わることで、これまでの1年とはだいぶ感じ方が違う気がする。2000年問題及び、21世紀を先取りする各種イベントが、不安と希望を掻き立てるのかも知れない。◎例年、12月が1年間の出来事を省みて、新しい年への備えをする月とすれば、来年の1年間は20世紀を省みる年と言える。変化の大きかった時代を生き抜いて来た我ら会員にとっては、意義深く考えさせられる節目ではないでしょうか。

（長谷川 記）